

分科会・ポスターセッションの発表について(演題募集テーマ)

大会の分科会及びポスターセッションの発表演題を募集いたします。

大会のテーマ「グループホームだから出来る無限の可能性！ ～宮城から発信！グループホームの原点と未来に向けて～」及び大会趣旨（開催案内2ページ目に記載）のもとグループホームに入居されている方が生きがいを持って暮らし続けられる取り組みや研究をまとめた発表を募集いたします。また、次回大会におきまして、この発表の中から優れた内容のものを選定し、優秀奨励賞、奨励賞として発表します。皆様の事業所での実践を、全国の舞台上で発表されることを大いに期待いたします。

●分科会・ポスターセッション（共通）

番号	演題募集テーマ：演題の趣旨・背景	キーワード
1	グループホームは地域密着型ケアの中核として、多様化・高度化するニーズへの対応が求められている。一方で、人材不足や物価高騰など運営を取り巻く環境は厳しさを増しています。人材確保・育成・定着の工夫、行政支援の活用、業務・環境改善、ICTやロボット導入による生産性向上などの実践を共有し、持続可能で質の高い運営の未来像を探る実践例の発表を募集します。	人材確保・行政支援策 人材育成・人材定着 業務改善・環境改善 生産性向上（ICT、ロボット） 物価上昇・物価高騰対策
2	グループホームにおける安心・尊厳ある生活の実現には、権利擁護と虐待防止の徹底が不可欠です。同時に、職員のストレスやハラスメント、カスタマーハラスメントへの対応、事故やトラブルを未然に防ぐリスクマネジメントの強化も重要性を増しています。現場の実践や課題を共有し、利用者・職員双方を守る持続可能で安全な運営のあり方を探る実践例の発表を募集します。	権利擁護・虐待防止 ストレスマネジメント リスクマネジメント ハラスメント・カスタマーハラスメント
3	グループホームは少人数・家庭的環境の中で、一人ひとりの尊厳と暮らしを支えるケアが求められます。パーソン・センタード・ケアの実践を基盤に、自立支援やフレイル予防を通じて生活機能の維持・向上を図ることが重要です。日常ケアの工夫や実践事例を共有し、その人らしい生活の継続と地域での豊かな暮らしを支えるあり方を探る実践例の発表を募集します。	グループホームケア パーソン・センタード・ケア 自立支援 自己決定支援 フレイル予防
4	グループホームは地域に開かれた拠点として、認知症カフェや多様な交流を通じた地域貢献・連携が期待されています。認知症伴走型支援や若年性認知症への対応など、切れ目のない支援の重要性も高まっています。地域包括ケアの推進と共生社会の実現に向けた実践を共有し、地域とともに支え合う新たな役割と可能性を探る実践例の発表を募集します。	地域貢献・地域連携 地域拠点・認知症カフェ 認知症伴走型支援 若年性認知症 地域包括ケア・共生社会
5	感染症や自然災害はグループホームの運営に大きな影響を及ぼし、利用者の生活継続を脅かす重要課題です。実体験から得られた教訓を踏まえ、感染症対策や災害対策の強化、BCP（事業継続計画）の実効性向上が求められています。現場の具体的な取り組みや課題を共有し、有事においても安心・安全な暮らしを守る体制づくりを探る実践例の発表を募集します。	感染症実体験 自然災害実体験 感染症対策 自然災害対策 BCP（事業継続計画）
6	入居者の重度化が進む中、グループホームには医療との連携を強化し、最期までその人らしい暮らしを支える役割が求められています。看取りやACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実践を通じ、本人・家族の意思を尊重した支援の重要性が高まっています。現場の取り組みや課題を共有し、安心して暮らし続けられる支援体制のあり方を探る実践例の発表を募集します。	重度化対応 医療連携 看取り ACP（アドバンス・ケア・プランニング）
7	その他、1～6に含まれない、各施設の特徴ある取り組みなどの発表を募集します。	

※ご提出いただいた抄録を査読させていただいた後、分科会会場A～Fおよびポスターセッション会場に振り分けさせていただきます。なお、演題テーマ番号（上記1～7）と、実際の分科会会場番号（分科会会場A～Fおよびポスターセッション会場）は一致しませんのでご注意ください。（同一会場で複数種類の演題テーマ発表がされる場合があります）。また、発表は1日目午後と2日目午前に分かれていますが、発表の日・時間帯は実行委員会にて決定させていただきます。